

# 地域学校協働活動 コーディネーター養成講座

## 対象

- ◆学校運営協議会委員、市町教育委員会または校長が推薦する者、地域学校協働活動推進員等
- ◆教職員（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校）
- ◆コミュニティ・スクールまたは社会教育関係行政職員等

※第1回は理解促進研修を兼ねており、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みや制度、意義等の「最初に押さえておくべき講義内容」となっています。そのため、市町教育委員会または校長が推薦する者、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員と教職員が一緒に受講してください。

※令和5、6年度修了者も受講可能です。

（構成・内容は一部変更することがあります。）

### 行政説明「広島県のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の現状について」

講義「地域学校協働活動コーディネーターに求められる役割と意義」  
熟議「子供が抱える課題の理解」

講師：国立教育政策研究所 志々田 まなみ氏

講義・熟議「不登校児童生徒の支援について」

担当：広島県教育委員会個別最適な学び担当



志々田 まなみ氏



熟議「社会に開かれた教育課程の実現について」

担当：広島県教育委員会義務教育指導課

講義・熟議「活動プランづくり（ワークショップ）」

講師：一般社団法人まなびのみなと 円光 歩氏



円光 歩氏



### メッセージ「今後のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて」

講義「これからの学校と地域

～学校運営と教育課程の視点から考える～

熟議「プロジェクト・マネジメント（ワークショップ）」

講師：特定非営利活動法人まちと学校のみらい

竹原 和泉氏（文部科学省CSマイスター）



竹原 和泉氏



※写真は昨年度の養成講座の様子

## 会場

西部会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ  
（まちづくり市民交流プラザ）

芸北会場：北広島町まちづくりセンター

東部会場：広島県尾道庁舎

北部会場：広島県三次庁舎

※オンライン（Zoom）受講可

（受講申込の状況等により、会場が変更になることがあります。）



問合せ 広島県立生涯学習センター振興課（広島県情報プラザ4階）

電話：082-248-8848 ファクシミリ：082-248-8840

E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp





大学生ボランティアチーム

# ワクワク学び隊

をご活用ください！

大学生ボランティアが創る、新しい体験・交流の場！

～県内各地で活用され、地域学校協働活動の充実につながっています！～



## 活動例

実験、工作、絵画、音楽、ダンス、演劇、スポーツ、レクリエーション、英会話、読み聞かせ、学習支援、学校内での活動支援、児童・生徒が参画するイベントの支援・・・

広島県立生涯学習センターが  
大学生との  
マッチングをします

- 広島県立生涯学習センターでは、県内の市町が実施している地域学校協働活動を充実させるとともに大学生の地域貢献を促進するため、大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」を派遣します。
- 令和6年度から、「ワクワク学び隊」の派遣対象をすべての地域学校協働活動に拡大しています。
- 依頼元に大学生ボランティアへの交通費相当額の支給をお願いしています。



エントリー状況・チーム紹介／派遣希望書等ダウンロード

## 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

TEL: 082-248-8848 FAX: 082-248-8840

MAIL: sgeshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

HP: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/center-model-wakuwaku-wakuwaku-top.html>

ぱれっとひろしま



## 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」派遣実施要項

広島県立生涯学習センター

**1 趣旨**

この要項は、県内の市町が実施している地域学校協働活動（※）を充実させるとともに大学生の地域貢献を促進するため、県内の大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」（以下「ワクワク学び隊」という。）を派遣することに関して、必要な事項を定める。

※ 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 5 条第 2 項に規定される、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

**2 派遣の対象**

「ワクワク学び隊」は地域学校協働活動に対して派遣する。

**3 「ワクワク学び隊」に関する事務**

「ワクワク学び隊」に関する事務は、広島県立生涯学習センター（以下、「生涯学習センター」という。）が行う。

**4 募集**

「ワクワク学び隊」の募集は、県内の大学の協力を得て行う。

**5 登録****(1) 登録の要件**

「ワクワク学び隊」として登録する要件は、次のとおりとする。

ア 原則として県内の大学に在学する学生で、複数人で構成されていること

イ 政治・宗教・営利活動を目的としないこと

**(2) 登録の有効期間**

「ワクワク学び隊」の登録有効期間は、登録の日から登録の日が属する年度の末日までとする。

**(3) 登録データの管理**

登録されたデータは、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）に基づき、適正に管理するものとする。

**6 派遣****(1) 派遣の依頼**

「ワクワク学び隊」の派遣を希望する活動主催者は、生涯学習センターに派遣を依頼するものとする。

**(2) 派遣の決定**

生涯学習センターは、派遣依頼のあった者と「ワクワク学び隊」との調整を行い、派遣を決定する。

(3) 派遣の中止

生涯学習センターは、「ワクワク学び隊」の派遣に関わって支障がある場合には、該当する依頼元と協議した上で派遣を中止することができる。

**7 秘密を守る義務**

「ワクワク学び隊」として派遣される者は、活動上知り得た秘密を漏らしてはならない。

**8 保険**

生涯学習センターは、「ワクワク学び隊」のメンバーを被保険者とする傷害及び損害賠償の保険に加入する。

**9 その他**

この要項に定めるもののほか「ワクワク学び隊」の派遣に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 29 年 7 月 6 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 6 年 2 月 1 日から施行する。

令和7年度 地域学校協働活動推進事業  
大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」のエントリー状況

| NO | チーム名                  | 登録人数 | 活動内容                                                                           |                                                                                                                    | 活動可能な時期                                                                             | 活動可能な地域                                                  | 所属大学名            |
|----|-----------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------|
| 1  | 近畿大学クリーンライフボランティアサークル | 6    | 工作<br>レクリエーション<br>学習支援                                                         | 大学付近で主に活動しています。令和6年度は高屋西地域センターで行われた子供を対象とするイベントの企画・運営や地域の安全啓発マップ作成に携わりました。令和7年度も引き続き子供たちと関わるイベントを企画していければと考えております。 | <日にち・曜日等><br>4月27日～7月19日頃<br>8月4日～9月10日頃<br>12月24日～1月15日頃<br>2月1日～3月31日頃<br>土曜日、日曜日 | 東広島市                                                     | 近畿大学             |
| 2  | 青年ボランティアグループ「カッターズ」   | 14   | 工作、スポーツ<br>レクリエーション                                                            | 子供たちが楽しめるように、日頃キャンプで養った力を活かしながら、活動を行います。季節や場所、人数に合わせて内容を考えます。                                                      | <日にち・曜日等><br>要請に応じて、都合の合う日に活動します。                                                   | 対象市町すべて<br>特別支援学校                                        | 安田女子大学<br>尾道市立大学 |
| 3  | HIT-ALPs 電気クラブ        | 28   | 実験、工作                                                                          | 日常に欠かせない「電気」の面白さを体験できる実験教室・工作教室を開催します。                                                                             | <日にち・曜日等><br>5月10日～3月31日頃<br>土日祝日、長期休暇についても相談に応じます。                                 | 広島市、大竹市<br>東広島市<br>廿日市市、府中町<br>海田町、熊野町<br>坂町<br>オンライン対応可 | 広島工業大学           |
| 4  | JCDキャロット（出張理科実験）      | 7    | 実験、工作                                                                          | 理科の面白さや楽しさを知ってもらうために、女子学生たちが楽しく工作や実験を教えます。                                                                         | <日にち・曜日等><br>4月10日～1月20日頃                                                           | 広島市、三原市、<br>尾道市<br>廿日市市<br>府中町、海田町、<br>熊野町               | 広島工業大学           |
| 5  | メイブルみっつ               | 19   | 工作、音楽<br>ダンス、スポーツ<br>レクリエーション                                                  | 要請に応じて柔軟に活動の企画及び運営を行います。また、対象児童の学年や人数に合わせて、より良い活動の提供と支援を目指します。活動内容については、幅広い分野に対応いたしますので、派遣を御希望の場合は、御相談ください。        | <日にち・曜日等><br>要請に応じて、都合の合う日に活動します。                                                   | 東広島市                                                     | 広島大学             |
| 6  | レクリエーションボランティアサークル    | 8    | 音楽、ダンス、<br>スポーツ<br>レクリエーション<br>読み聞かせ<br>学習支援<br>学校内での活動支援<br>児童・生徒が参画するイベントの支援 | 登録メンバー全員が子ども学科なので、小さい子どもたちと遊ぶことは得意です。                                                                              | <日にち・曜日等><br>要請に応じて、都合の合う日に活動します。                                                   | 広島市、呉市<br>大竹市<br>廿日市市<br>府中町、海田町<br>坂町                   | 広島文化学園大学         |



## 令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム まとめ

令和7年4月  
広島県立生涯学習センター

## 1 基本方針

広島県教育委員会では、親の教育力の低下やモラルの低下など、家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭の教育力の向上を目指すことを目的として、平成20年度から、広島県教育委員会が開発した「親の力」をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）を活用した学習機会の充実に取り組んでいる。平成23年度からは、市町が実施する「親プロ」の支援を行うこととし、教材の改善・開発、ファシリテーターの資質向上に取り組んでいる。

また、平成29年2月に策定された「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを踏まえ、ネウボラ等で活用できる教材の普及を行っている。

## 2 令和6年度の成果

## (1) 親プロ講座の実績

| 区分    | R 5   |          |      | R 6   |          |      |
|-------|-------|----------|------|-------|----------|------|
|       | 市 町   | うち 親子コミ※ | 高等学校 | 市 町   | うち 親子コミ※ | 高等学校 |
|       |       |          |      |       |          |      |
| 講 座 数 | 202   | 10       | 3    | 159   | 28       | 2    |
| 実施市町  | 16    | 5        | 3    | 17    | 2        | 2    |
| 受講者数  | 2,618 | 129      | 82   | 2,501 | 374      | 106  |

※親子コミ…親子コミュニケーション応援編

## (2) 講座実施に係る主な取組

## 呉市での親プロファシリテーターフォローアップ講座の実施

コロナ禍が明け、親プロ講座を再開させてファシリテーターの皆さんにも活躍していただきたいという思いから、県と市が連携してフォローアップ講座を実施し、8名の方が受講された。これを機に、家庭教育支援関係の研修参加も増え、他市町のファシリテーターと交流の機会をもつことができた。また、前年度は0回だった親プロ講座も、1回開催することができた。

## 大竹市での親プロファシリテーター養成講座の実施

県と市が連携して、3年ぶりに養成講座を実施し、4名の方が受講された。家庭教育支援の概要や親プロファシリテーターの役割についての講義及び演習を、当センター職員（親プロファシリテーター）が行った。講座後、新しく親プロファシリテーターになられた方が、親プロ講座を実施。4年ぶりの開催となった。

## 「親の力」をまなびあう学習プログラム意見交流会実施

新しいプログラム案を開発するための意見交流会を実施し、親プロファシリテーター及び各市町の家庭教育支援を担当する行政職員等11名が参加した。「児童生徒の現状と家庭教育支援の課題」について、府中町教育委員会青少年教育相談員の奥金実氏に講義をしていただき、悩む親子への支援について学んだ。講義内容を基に、各グループで新プログラム案を考え、全体共有を行った。

## 大野東市民センターでの親プロ講座開催

教材番号：24

プログラム名：かかわってみて・・・～地域の大人ができること～（アレンジ版）

令和6年度6月から「こどもの居場所@おおのひがし」を始めるにあたり、地域の大人として子供を見守るメンバーの気持ちを揃えるために親プロ講座が開催され、10名が参加した。自分が子供だった頃にどんな場所でどんな遊びをしていたか振り返った後、今の子供たちはどんな遊びをしているか、子供の健やかで豊かな成長のために、自分たちはどんな大人であったらよいか等を話し合った。

地域の大人ができることについて、それぞれの立場で考え、意見を出し合うことで、子供を知ることや子供たちとのコミュニケーションの大切さに気付き、「こどもの居場所@おおのひがし」を実施する上での意識統一を図ることができた。

## (3) 教材の改善

「親の力」をまなびあう学習プログラム 意見交流会開催。

## (4) 養成したファシリテーターへの支援

アウトリーチ型家庭教育支援研修、親プロファシリテーターステップアップ研修（オンラインでの実施）

【研修内容】講義、実践発表、情報提供、意見交流等

## (5) ホームページ、メールマガジン等による情報提供

当センターホームページ「ばれっとひろしま」で市町やファシリテーターの取組を支援する情報を提供。

メールマガジンにて、各種研修の案内、報告を発信。

## (6) 市町が実施するファシリテーター養成講座及びフォローアップ講座の支援

○養成講座実施市町数：5市町（福山市、府中市、大竹市、東広島市、府中町）

※呉市は、東広島市の講座に参加。広島市は、東広島市・府中町の講座に参加。

○フォローアップ講座実施市町数：2市（呉市、東広島市）

○地域課題対応研修支援：廿日市市（令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム）ファシリテーターフォローアップ&amp;交流会）

寄って 話して  
自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

おや ぽ ろ  
親プロ



「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）は、気軽に交流できる雰囲気の中で、親の悩みに対応した、どの家庭でもありそうな身近な場面での「子供との関わり方」を考え、話し合うための教材です。

## 親プロは…

- ◇親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけ作りのために、子育てについて交流しながら学び合う「寄って、話して、自ら気づく」参加型の学習プログラムです。
- ◇少人数でも、多くの方が集まる場合でも実施できます。
- ◇様々な場面で使える子育ての段階に応じた複数のプログラムがあります。
- ◇話し合いをスムーズに進行するために、ファシリテーター（講師）を派遣します。



## 「親プロ」での学びは、

- ①子供への理解が深まります。
- ②保護者同士の交流が深まります。
- ③子育てについて振り返り、家庭教育について新たな気づきがあります。



## 【参加者の声】



子育てを振り返ることができました。

教材は、ワークシートに記入するタイプの他にも、大型モニターやプロジェクター投影対応のデジタル版、スマートフォンやタブレット端末対応のオンライン版も作成しています。

私だけじゃない、みんな同じなんだと少し気が楽になりました。

転勤してきたばかりでしたが、仲間ができました。



お問い合わせはこちらまで！

広島県立生涯学習センター（ぱれっとひろしま）TEL：082-248-8848  
メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp HP：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>  
または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。



# 「親の力」をまなびあう学習プログラム」一覧 ☆:デジタル版あり

| 段 階    | 対 象              | No.          | 教 材 タ イ ト ル                        |
|--------|------------------|--------------|------------------------------------|
| 子育て準備期 | 中学・高校生など<br>青少年  | 1            | おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分 やがて生まれてくる命～   |
|        |                  | 2、2-2(アレンジ版) | 親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～              |
|        |                  | 3            | おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～            |
|        | まもなく親になる人        | 4            | 親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～              |
|        |                  | 5            | 妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～          |
| 子育て前期  | 0～2歳児の親          | 6、6-2(アレンジ版) | 出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～        |
|        |                  | 7            | 私の時間、子供の時間 ～つくっていますか？心のゆとり～        |
|        |                  | 8            | お付き合いって難しい？！ ～「私と周り」の人間関係を振り返る～    |
|        | 3～6歳児の親          | 9            | ワイワイ、キヤーキヤー！ ～「子供と遊び」について考える～      |
|        |                  | 10           | 買って買って！ ～さあ困った！あなたなら？～             |
|        |                  | 10-2(アレンジ版)  | こんな時、どうする？ ～子供の気持ちを受け止める～          |
|        |                  | 11           | 〇〇ちゃんがするっ！！ ～自我の芽生えと親の思い～          |
|        |                  | 12           | もうすぐ小学生！ ～これまでの子育てを振り返る～           |
|        | 小学1～3年生の親        | 12-2(アレンジ版)  | もうすぐ小学生！ ～期待と不安の中味とは？～             |
|        |                  | 13           | 親子でやってみよう！ ～楽しい小学校生活を過ごすために～       |
| 子育て後期  | 小学4～6年生の親        | ★14          | くらべないで！ ～同じ子供なんて一人もいない～            |
|        |                  | ★15          | みなおして！ ～多様な視点から子供を見る～              |
|        |                  | 16           | 体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～               |
|        | 中学・高校生の親         | 17           | どうする？ どういう？ ～子供の人間関係へのかかわり～        |
|        |                  | 18           | さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～           |
| 子育て支援期 | 中・高生など<br>子育て支援者 | 19           | 思い出してみても… ～私にもあった青春時代～             |
|        |                  | 20           | キャッチボールは得意ですか？～気持ちを伝える胸の真ん中で受け止める～ |
|        |                  | 21           | ほどよい距離感って？～子供の自立と親の自立～             |
|        |                  | 22           | よりそってみて ～子育て環境の変化を知る～              |
|        |                  | 23           | たちどまってみて ～こんな場面であなたなら？～            |
|        |                  | 24           | かかわってみて ～地域の大人ができること～              |

## テーマ別に開発した教材 ☆多様化する現代的課題に対応した教材です。

|                    |             |                                     |
|--------------------|-------------|-------------------------------------|
| 小学生～高校生の父親         | ★25         | お父さんの子育てトーク！ ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～       |
| 乳幼児～高校生の親          | 26          | スマホ！ウチではどうする？！～考えてみて、わが家流のつきあい方～    |
| 小学生～高校生及びその親       | 26-2(アレンジ版) | スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー～          |
| 子育て期の親、働く人など       | 27          | 向 き あ っ て み て … ～「仕事」と「子育て」の調和のために～ |
| まもなく親になる人、0～3歳児の親子 | 28          | おひざにだっこでおはなししましょう ～絵本をひらいてみませんか～    |
| まもなく親になる人、0～3歳児の親  | 29          | おひざにだっこでおはなししましょう～読み聞かせ、どうしてる？～     |
| 中学・高校生などの青少年       | 30          | 地域ぐるみで子育て！～親の立場で考えてみよう～             |
|                    | 31          | あなたならどうする、どう考える？～親として、地域の一人として～     |

## 親子コミュニケーション応援編 ☆子供の気持ちに共感した接し方、コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

|              |      |                         |
|--------------|------|-------------------------|
| 概ね2、3歳～6歳児の親 | ★コー1 | 「ちゃんとしてね！」で伝わってる？       |
|              | コー2  | ほめて「楽」に子育て～悩むの中止で注視しよう～ |
|              | コー3  | 待つ門には福がくる！？             |
|              | コー4  | いきなりどなっていないですか？         |
|              | コー5  | 備えあれば怒りなし！？             |
|              | コー6  | 指示より支持してみよう             |

## 短時間でできる教材 ☆乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。

|          |       |                               |
|----------|-------|-------------------------------|
| 0歳～2歳児の親 | ★ミニー1 | みんなどうしてる？～親編・親の生活編・子供の生活編～    |
|          | ★ミニー2 | デジタル時代の子育て～スマホの使い方 みんなどうしてる？～ |

## 「親の力」をまなびあう学習プログラム」Q&A

Q. 「親プロ」を活用することで、どんな成果がありますか？

A. 親自身の子育ての悩みや不安を解消するほか、親同士の交流・ネットワークを深めることができます。  
子供たちの明るい笑顔と未来のために、親の学びや育ちを応援することができるプログラムです。

Q. 時間はどのくらいかかりますか？

A. 90分～120分のプログラムが多くありますが、15～50分程度の短時間で講座に活用いただけるものもあります。  
参加者のニーズや「場」に応じて、プログラムをアレンジして短時間で実施することもできます。

Q. 講師は誰が務めるのですか？

A. 県や市町の養成講座を修了したファシリテーターが、学習プログラムの進行を務めます。参加者が安心して自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたりすることができるような雰囲気を作り、学びや交流を促していく役割を担います。

「親プロ」について  
詳しくは  
こちらからどうぞ！

紹介動画も  
視聴できます







私たちのまちや暮らしにある様々な課題。

その課題の解決に向けて、地域に暮らすみなさんを支えるのが  
「社会教育士」です！



地域の人たちに伴走しながら



詳しくは  
特設サイトへ



文部科学省



社会教育士

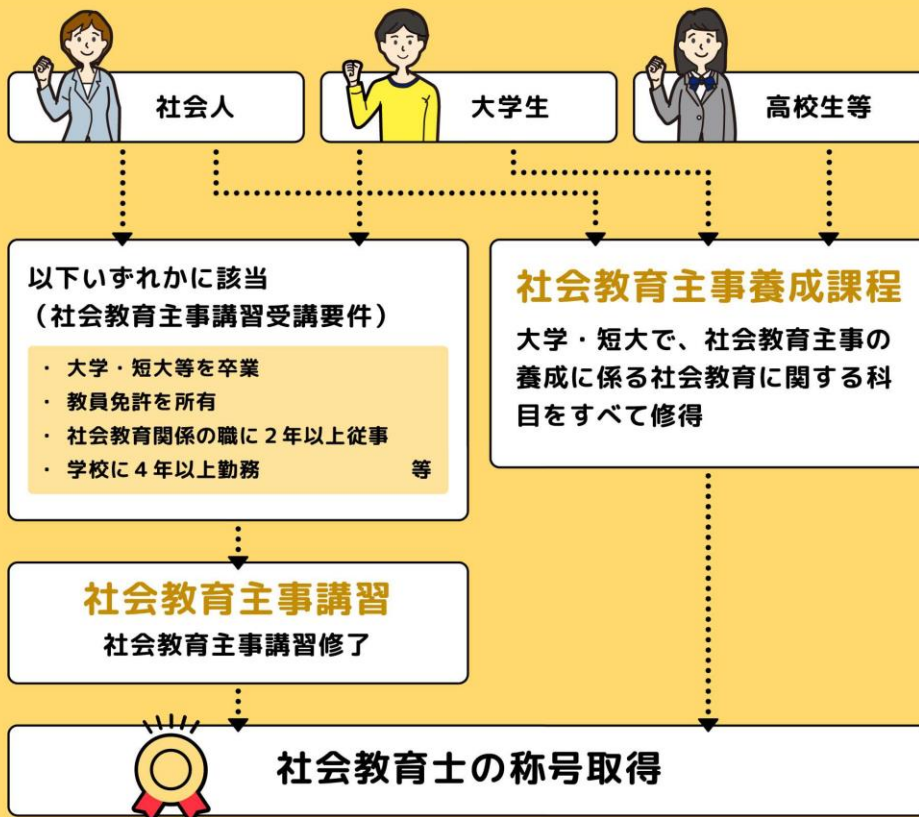
社会教育士って

知っていますか？

# 社会教育士とは？

社会教育士は、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人たちの**称号**です。講習や養成課程で習得した社会教育の制度や基礎的な知識に加え、**コーディネート能力**、**ファシリテーション能力**、**プレゼンテーション能力**等を活かし、行政や企業、NPO、学校等の多様な場で活躍することが期待されています。

## 社会教育士取得へのステップ



こんな方に社会教育士になることをおすすめします！

### 行政職員

どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。  
つまり、全ての行政職員におすすめです！



### NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。



### 企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。



### 学校の教職員

子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。



社会教育士は、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、下記の専門性の習得をねらいとした課程や講習を修了した人たちの称号です。

1

### ファシリテーション能力

人のやる気に火をつけたり、ものごとを自分事化していくプロセスを支えたりというような、活動への意欲・自発性を引き出しながら意識・行動の変化を促していく「学び」を支援するための基礎的な知識と技能

2

### プレゼンテーション能力

地域のヒト、コト、モノや、地域で共有したい想いや願いなどの情報を、より多くの人に、わかりやすく、共感しやすい方法で積極的に伝えていくための基礎的な知識と技能

3

### コーディネート能力

人どうし、活動どうし、組織どうしなど、異なる他者どうしが相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係（協働）へと調整するための基礎的な知識と技能

## これまでの社会教育主事となにが違うの？

### Point 01

#### 社会教育主事講習・養成課程で学ぶ内容が変わった！

社会教育主事が、これまで以上に人づくりや地域づくりの中核的な役割を担うことができるよう、その職務遂行に必要な基礎的な資質・能力を養成するため、社会教育主事講習及び大学等における社会教育主事養成課程の科目の改善が図られました。

- 社会教育主事講習・養成課程に「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」の2科目を新設
- 社会教育主事養成課程において「社会教育実習」が必修化

### Point 02

#### 発令を受けていなくても名乗れる称号ができた！

社会教育主事は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が講習や養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。そこで、講習や養成課程における学習成果がさらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

社会教育主事が、教育的専門職員として都道府県及び市町村の教育委員会に置かれなくてはならないことは、これからも変わりありません。地域における様々な分野で活躍する社会教育士が増えるにつれ、「学びのオーガナイザー」としての総合的な視点に立った地域全体の社会教育振興に取り組む社会教育主事の役割はますます重要になります。



## ■『社会教育士』の称号を取得するには？

社会教育主事講習を受講して必要な単位を修得する必要があります。令和7年度に開催される講習は次のようなものがあります。

### ◎ライブ配信やeラーニングは、職場や自宅からオンラインで受講可能！

| 主 催               | 国立教育政策研究所<br>社会教育実践研究センター<br>社会教育主事講習【A】                              | 広島大学<br>社会教育主事講習                                  | 国立教育政策研究所<br>社会教育実践研究センター<br>社会教育主事講習【B】 広島会場         |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 会 場               | 【通常コース】 オンライン<br>社会教育実践研究センター（東京）<br>【オンラインコース】 <b>自宅か職場からオンライン受講</b> | 広島大学 東広島キャンパス（東広島市）                               | 広島県情報プラザ（広島市）                                         |
| 時 期               | 【通常】 令和7年7月11日(金)～8月20日(水)<br>【オンライン】 令和7年7月11日(金)～8月28日(木)           | 令和7年7月21日(月)～8月19日(火)                             | 令和8年1月16日(金)～2月20日(金)                                 |
| 時 間               | 平日9:00～17:15（ライブ配信・集合形式の場合）                                           | 平日10:30～17:50（ライブ配信・集合形式の場合）<br>※8:50開始となる日もあります。 | 平日9:30～17:15（ライブ配信・集合形式の場合）                           |
| 定 員               | 116名（【通常】80名、【オンライン】36名（全国））                                          | 40名                                               | 80名（主会場：東京）、40名（広島会場）                                 |
| 単位数               | 4科目8単位（各科目2単位） <b>★複数年での分割受講が可能（科目ごと）</b>                             |                                                   |                                                       |
| 生涯学習<br>概論<br>（※） | 生涯学習の理念と施策・社会教育の意義と展開等                                                |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常・オンライン】 ◎eラーニング（約25.5時間）<br>◎ライブ配信（約4.5時間・1日）                      | ◎ライブ配信（約30時間）                                     | ◎eラーニング（約24時間）<br>◎ライブ配信（約6時間・1日）                     |
| 社会教育<br>経営論       | 社会教育行政の経営戦略・社会教育行政と地域活性化等                                             |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常・オンライン】 ◎eラーニング（約25.5時間）<br>◎ライブ配信（約4.5時間・1日）                      | ◎ライブ配信（約8時間）<br>●集合形式（約22時間）                      | ◎eラーニング（約24時間）<br>◎ライブ配信（約6時間・1日）                     |
| 生涯学習<br>支援論       | 学習支援に関する理論・参加型学習の実践とファシリテーション技法等（約30時間）                               |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常】 ●集合形式（約30時間・5日）<br>【オンライン】 ◎ライブ配信（約30時間・5日）                      | ●集合形式（約30時間）                                      | ◎ライブ配信（約12時間・2日）<br>●集合形式（約18時間・3日）                   |
| 社会教育<br>演習        | 教育事業の立案・展開の実践                                                         |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常】 ●集合形式（約30時間・5日）<br>【オンライン】 ◎ライブ配信（約30時間・6日）                      | ●集合形式（約60時間）                                      | ●集合形式（約30時間・5日）                                       |
| 特 徴               | ・県外受講者との交流機会が多い<br>・通常コースとオンラインコースがあり、勤務状況等に合わせて受講しやすい                | ・学校の夏休み期間を利用して、教職員等が受講しやすい<br>・県外受講者との交流機会が多い     | ・冬季の行事閑散期に開催<br>・eラーニングによるオンデマンド受講が多く、勤務の状況に応じて受講しやすい |

※放送大学の対応する科目を履修した場合、既修得単位として認定を受けることができます。

- ・その他、県外の大学等でも、オンラインやオンデマンドを活用した講習が開催されています。
- ・詳しくは、文部科学省のホームページを参照、又は、広島県立生涯学習センターまでお問合せください。

### 【申込先】 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47  
TEL：082-248-8848 / Mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp



社会教育士



★「社会教育主事講習」の御案内★

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」のスペシャリスト  
学びと地域をむすぶ オーガナイザー  
**社会教育士**

講習を受講すれば…

教職員ならだれもがスキルアップしておきたい

- ★ **1** コーディネート能力
- ★ **2** ファシリテーション能力
- ★ **3** プレゼンテーション能力

が身に付きます

★ こんな場面で役立ちます ★

教員の  
授業づくりに



**1**

探究学習やキャリア教育、  
主体的・対話的な学びの場づくりなど、  
教育内容・授業の改善・充実に役立つ！

校長・教頭  
CS担当教員等に



**2**

地域連携や多様な主体とのネットワーク  
づくりの視点が、「社会に開かれた教育  
課程」の実現やコミュニティ・スクール  
の効果的な運営に役立つ！

行政職員  
指導主事等に



**3**

学校教育・社会教育双方の部署に社会教育  
主事（士）を配置することで、教育委員会  
管内のコミュニティ・スクールと地域学校  
協働活動の一体的推進体制の構築が進む！

資料 7－2

学校教職員の皆さん

学校と地域が連携・協働して、学校と地域をつなぎ、学びを創り出す

**社会教育士**

になりませんか



詳しくは  
特設サイトへ



広島県教育委員会

# 社会教育士とは？

社会教育士は、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人たちの**称号**です。講習や養成課程で習得した社会教育の制度や基礎的な知識に加え、コーディネート能力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力等を活かし、行政や企業、NPO、学校等の多様な場で活躍することが期待されています。

## 社会教育士取得へのステップ



こんな方に社会教育士になることをおすすめします！

### 行政職員

どの部署の職員にとっても必要な地域のニーズに寄り添い、地域住民と協働していくための専門的スキルが身につきます。  
つまり、全ての行政職員におすすめです！



### NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。



### 企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。



### 学校の教職員

子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。





社会教育士は、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、下記の専門性の習得をねらいとした課程や講習を修了した人たちの称号です。

1

### ファシリテーション能力

人のやる気に火をつけたり、ものごとを自分事化していくプロセスを支えたりというような、活動への意欲・自発性を引き出しながら意識・行動の変化を促していく「学び」を支援するための基礎的な知識と技能

2

### プレゼンテーション能力

地域のヒト、コト、モノや、地域で共有したい想いや願いなどの情報を、より多くの人に、わかりやすく、共感しやすい方法で積極的に伝えていくための基礎的な知識と技能

3

### コーディネート能力

人どうし、活動どうし、組織どうしなど、異なる他者どうしが相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係（協働）へと調整するための基礎的な知識と技能

## これまでの社会教育主事となにが違うの？

### Point 01

#### 社会教育主事講習・養成課程で学ぶ内容が変わった！

社会教育主事が、これまで以上に人づくりや地域づくりの中核的な役割を担うことができるよう、その職務遂行に必要な基礎的な資質・能力を養成するため、社会教育主事講習及び大学等における社会教育主事養成課程の科目の改善が図られました。

- 社会教育主事講習・養成課程に「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」の2科目を新設
- 社会教育主事養成課程において「社会教育実習」が必修化

### Point 02

#### 発令を受けていなくても名乗れる称号ができた！

社会教育主事は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が講習や養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。そこで、講習や養成課程における学習成果がさらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

社会教育主事が、教育的専門職員として都道府県及び市町村の教育委員会に置かれなくてはならないことは、これからも変わりありません。地域における様々な分野で活躍する社会教育士が増えるにつれ、「学びのオーガナイザー」としての総合的な視点に立った地域全体の社会教育振興に取り組む社会教育主事の役割はますます重要になります。

## ■『社会教育士』の称号を取得するには？

社会教育主事講習を受講して必要な単位を修得する必要があります。令和7年度に開催される講習は次のようなものがあります。

### ◎ライブ配信やeラーニングは、職場や自宅からオンラインで受講可能！

| 主 催               | 国立教育政策研究所<br>社会教育実践研究センター<br>社会教育主事講習【A】                                  | 広島大学<br>社会教育主事講習                                  | 国立教育政策研究所<br>社会教育実践研究センター<br>社会教育主事講習【B】 広島会場         |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 会 場               | 【通常コース】 オンライン<br>社会教育実践研究センター（東京）<br>【オンラインコース】 <b>自宅か職場からオンライン受講</b>     | 広島大学 東広島キャンパス（東広島市）                               | 広島県情報プラザ（広島市）                                         |
| 時 期               | <b>【通常】 令和7年7月11日(金)～8月20日(水)</b><br><b>【オンライン】 令和7年7月11日(金)～8月28日(木)</b> | <b>令和7年7月21日(月)～8月19日(火)</b>                      | <b>令和8年1月16日(金)～2月20日(金)</b>                          |
| 時 間               | 平日9:00～17:15（ライブ配信・集合形式の場合）                                               | 平日10:30～17:50（ライブ配信・集合形式の場合）<br>※8:50開始となる日もあります。 | 平日9:30～17:15（ライブ配信・集合形式の場合）                           |
| 定 員               | 116名（【通常】80名、【オンライン】36名（全国））                                              | 40名                                               | 80名（主会場：東京）、40名（広島会場）                                 |
| 単位数               | 4科目8単位（各科目2単位） <b>★複数年での分割受講が可能（科目ごと）</b>                                 |                                                   |                                                       |
| 生涯学習<br>概論<br>（※） | 生涯学習の理念と施策・社会教育の意義と展開等                                                    |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常・オンライン】 ◎eラーニング（約25.5時間）<br>◎ライブ配信（約4.5時間・1日）                          | ◎ライブ配信（約30時間）                                     | ◎eラーニング（約24時間）<br>◎ライブ配信（約6時間・1日）                     |
| 社会教育<br>経営論       | 社会教育行政の経営戦略・社会教育行政と地域活性化等                                                 |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常・オンライン】 ◎eラーニング（約25.5時間）<br>◎ライブ配信（約4.5時間・1日）                          | ◎ライブ配信（約8時間）<br>●集合形式（約22時間）                      | ◎eラーニング（約24時間）<br>◎ライブ配信（約6時間・1日）                     |
| 生涯学習<br>支援論       | 学習支援に関する理論・参加型学習の実践とファシリテーション技法等（約30時間）                                   |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常】 ●集合形式（約30時間・5日）<br>【オンライン】 ◎ライブ配信（約30時間・5日）                          | ●集合形式（約30時間）                                      | ◎ライブ配信（約12時間・2日）<br>●集合形式（約18時間・3日）                   |
| 社会教育<br>演習        | 教育事業の立案・展開の実践                                                             |                                                   |                                                       |
|                   | 【通常】 ●集合形式（約30時間・5日）<br>【オンライン】 ◎ライブ配信（約30時間・6日）                          | ●集合形式（約60時間）                                      | ●集合形式（約30時間・5日）                                       |
| 特 徴               | ・県外受講者との交流機会が多い<br>・通常コースとオンラインコースがあり、勤務状況等に合わせて受講しやすい                    | ・学校の夏休み期間を利用して、教職員等が受講しやすい<br>・県外受講者との交流機会が多い     | ・冬季の行事閑散期に開催<br>・eラーニングによるオンデマンド受講が多く、勤務の状況に応じて受講しやすい |

※放送大学の対応する科目を履修した場合、既修得単位として認定を受けることができます。

- ・その他、県外の大学等でも、オンラインやオンデマンドを活用した講習が開催されています。
- ・詳しくは、文部科学省のホームページを参照、又は、広島県立生涯学習センターまでお問合せください。

★教職員等の受講に係る服務については、各所属長の判断となりますが、一般的には「職務専念義務免除」で受講できます。

★所属長及び所管の教育委員会等におかれましては、教職員の受講への御理解・御協力をお願いします。



社会教育士



### 【申込先】 広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

TEL：082-248-8848 / Mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp